



# Hug Kumi はぐくみ

発行所：  
釧路市家庭教育支援チーム  
発行日：  
平成 28 年 7 月 11 日 第 9 号

## ◆ 家庭教育講座『ほわっと』のご紹介

教育委員会の『家庭教育推進員』が保護者の皆さまが集まる様々な場所にお伺いし、家庭教育に関する講話や活動を行います。

今年度は、新たに家庭教育推進員に着任した三枝先生を中心に、これまで以上に充実した講座を開催したいと考えています。

「小学校入学前から中学校までの保護者じゃないとダメなの？」いえいえ、そんなことはありません。少人数でも状況に応じて対応いたしますので、お気軽にお申し込みください。

申込先：教育支援課 (0154-23-5189)



## ◆ 家庭教育講座『ほわっと』に想う

「親も子ども、笑顔で日々を送るために、共に子育てを見つめ直してみませんか」という思いを含め、6月24日の音別幼稚園から今年度の家庭教育講座「ほわっと」がスタートしました。今後、幼稚園や保育園、小学校、中学校で開催を予定しています。

子どもとのかかわり方、親子遊びと子どもの体力づくり、早寝早起き朝ごはんの効用、家庭でのネットモラルなど、様々な内容の講座が予定されており、担当者と連絡調整をする度に、発達段階に応じた子育ての大切さを痛感する毎日です。

子育ては決して楽なものではありませんが、親は子どもが一番身近で子どもの幸福と健康を守る存在です。だからこそ、親が大事なことをおさえ、多少のことには動じないゆとりの心を持つことも大切です。

この講座が、自分の子育てをふり返り、安心した気持ちで家庭教育について考えることができる場であり、有意義で心とほ、楽しく共に学ぶ場になるよう努めていきたいと思ひます。

たくさんの保護者・先生方にお会いできること、そして、共に子育てについて考えることができることを楽しみに準備に励んでいます。よろしくお祈りします。



(みえだ)

## ◆ 暮らしの歳時記



桜が咲くと春を感じ、日差しの強さに夏を感じ、実りの秋に感謝し、霜が降り寒さを感じ冬支度をします。

私たちの暮らしは、四季とともにあります。このコーナーでは、子どもの頃から慣れ親しんでいる、日本の古くからの伝統行事や年中行事、地域で行われている昔からの風習など取り上げて、その由来を紹ひします。

今回は、きっと皆さんも小さい頃、運動会や遠足など晴れてほしい時に作った思い出がある「てるてる坊主」をご紹介します。

てるてる坊主を飾ると、どうして晴れると言われていひるの？不思議に思って調べてみました。

てるてる坊主は、平安時代に中国から伝わりました。当時は「ほうき」を持った女の子に似せた紙人形で作っていて「掃晴娘(そうせいじょ)」と呼ばれていました。雨雲をほうきで払ってくれると信じられていたそうです。

それでは、なぜ「坊主」になったのでしょうか？坊主はお坊さんで僧侶のことです。女の子よりも僧侶の方が魔力の効力が強いので、いつしか女の子ではなくお坊さんに似せて飾るようになったそうです。

北海道には梅雨がないといわれていますが、例年6月頃には曇りの日や雨が降り続くこともあります。

大切な行事の前には、「あ〜した天気にしておくれ〜」と思ひを含めて、お子さんと一緒に「てるてる坊主」を作ってみてはひかがでしうか。



(なかい)

## ◆ いただきます と ごちそうさま

この二つの言葉には、それぞれ意味が込められています。いただきますは、命をいただくことへの感謝の気持ちが込められています。

ご馳走様(ごちそうさま)の「馳走」の文字には、走り回る意味があります。米や野菜を育てる人、それを運ぶ人、料理を作ってくれる人が準備のために走りまわってくれたことへのありがとうの感謝の気持ちが込められています。

自分の食べるものが、どこで、誰が、どのように作っっているものなのかを想像しながら食べ、おいしいと感じたときには、ぜひ感謝の気持ちを言葉に出してほしいものです。

家族全員が揃って食卓を囲むことが、なかなか難しくなっていますが、出来るときには親子で食事をともにし、いただきます、ごちそうさま、ありがとうの言葉を大切にしたいと思ひます。



(なかい)



### ◆ 三枝先生の子育てワンポイント



#### 第5条 時間を決めて、しっかり勉強

「宿題や勉強はどうなっているの」と尋ねると、「もう少しテレビを見てから」「友達にメール書いてから」と、勉強を後回しにしがちになっていませんか。結局「もう夜も遅いし、疲れたからやめよう」「明日でいいや」と勉強しないまま寝てしまう状況が予想できます。

学力を定着させ「学ぶ力」を育むためには、学校の授業だけでなく、家庭での学習習慣が大きな役割を果たします。家庭での学習は毎日時間をきめて取り組むことが基本であり、その積み重ねが習慣化へつながっていきます。①**時間と場所**を決めて、学習に取り組む～短い時間でも必ず机に向かう。また、**何時から何時まで勉強する**ということを家庭でよく話し合い、学習時間を設定しましょう。②**学習環境を整える**～学習に集中できるように整理整頓、落ち着いた環境を作りましょう。③**やる気**を引き出す保護者の言葉かけ～子どもが努力していることを認めほめることで家庭学習の**やる気**が継続します。

家庭学習の時間のほか、1日の生活における起床時間や就寝時間もきちんと決めることが重要です。家庭で話し合い、決めていく過程で、テレビの視聴時間、携帯やインターネットの使用時間等も見直すことになると思います。

(みえだ)



#### 第1回 いつもどんな声掛けをしていますか？

良い子に育ててほしい、幸せになってほしいと大切に思うあまりに、「〇〇しなさい」「〇〇してはだめ」というような命令や否定的な声掛けが多くなっていませんか。どんな言い方で伝えれば良いのか迷った時は、**自分自身が子どもだったら、どんなふうに言われたら理解できるか（納得できるか）**を考えてみましょう。

子どもも尊い一人の人間だと言う事を忘れてはならないのです。そして、親の心の奥にある**私はあなたが大好き、あなたが大切**という愛する気持ちを同時に伝わっていけば、子どもの理解も確かなものになると思います。

さて、今回は子どものやる気を育てる3つのポイントを紹介します。1つめは、**子どもの行動をほめる**。子どもが行動できた事実をほめること。2つめは、**可能性をほめる**。「もうすぐできそうだね」「いいぞ、すごいことになりそうだな」と可能性をほめること。3つめは、**子どもの存在をほめる**。「〇〇くんといると楽しかった」「〇〇がいたからできたよ」と本人の存在をほめること。この3つのポイントをおさえ、日常生活で子どもにかかわり、褒める対応に取り組むと、子どものやる気は確実に育まれていきます。

(みえだ)

### ◆ 情報モラル講座を開催しました

4月22日、武修館中学校より依頼をいただき、中学生54名を対象に情報モラル講座～SNSでトラブルを起こさないために～を実施しました。

講座では、始めに熊本地震におけるSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）の活用事例を通して、SNSに関する基礎知識を確認した後、ワールドカフェというグループワークの方法により、**SNSを使うにあたって私たちが身に付ける必要がある力**について、主体的に考え意見交流をおこないました。

参加した中学生からは、SNSの活用のみならずコミュニケーションのあり方について、たくさんの貴重な意見を出していただき、その意見交流の様子を保護者の皆さまにも参観していただきました。

(にしだて)

- ・ワールドカフェを初めて知り、他の班の意見を聞いて考えが浮かんで充実した時間だった
- ・SNSは便利だが、危険にまきこまれること改めて知れてよかった
- ・他の人の意見を聞いて自分の意見の幅を広げることができ、とても良かった
- ・言葉は時に刃物のようになるから、言葉使いに気をつけ発信する
- ・SNSの「こわさ」が充分伝わった「便利だけど危ない!!」 ・感情が見えないから悪口を感じる時がある
- ・SNSのトラブルをあまり考える場がなかったので良かった ・SNSの使い方はき違えないようにする
- ・講座を聞いて、SNSが災害時に役立つ反面、デマなどの情報を信じすぎないようにする
- ・SNSを使う際に、相手の気持ちを考え不快にならないように心掛け、嘘の情報を見極める力を身につけたい

= 講座内容 =	
15:25	講師紹介
15:30	講話
15:40	ワールドカフェ
16:10	まとめ



### ◆ 編集後記

近所のおじさんが「持ってきたぞ～」と言って、ワラビやゴゴミ、フキを持ってきてくれました。早速、大きな鍋に湯を沸かし、順番に鍋に投入。湯気と一緒に春の香りが漂いました。

小さい頃、フキの皮むきをイヤイヤ手伝ったことを懐かしく思い出し苦笑い(^\_^)茹で上がった山菜で夕食の準備をし、食卓にはふきの煮物、わらびの胡麻和えが並び、数日後にはおでんの具としておじさんのやさしさと一緒に美味しくいただきました。

今年度も、この家庭教育通信「はぐくみ」が、みなさんの子育ての絆づくり通信として、少しでもお役に立てばと思います。

(なかい)

〒085-0016

釧路市錦町2-4 釧路フィットネス ワーク M004 階

釧路市教育委員会 教育支援課 教育支援担当

電話：0154-23-5189

FAX：0154-25-5999

E-mail：kyo-kyouikushien@city.kushiro.lg.jp

◆ 本号作成担当者：西館・三枝・中井

釧路市 家庭教育

検索



釧路市教育委員会では、「早寝・早起き・朝ごはん」運動を奨励しています。

● 釧路市のホームページもご覧ください